

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

330号

2018年8月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

安倍政権と在日同胞 人間の生きる場所が狭まっていく日本

映画「万引き家族」の是枝監督は、韓国の中央日報に対し、今日の日本を次のように表した。

「共同体文化が崩壊して家族が崩壊している。多様性を受け入れるほど成熟しておらず、ますます地域主義に傾倒していった、残ったのは国粹主義だけだった。日本が歴史を認めない根っこがここにある。・・・日本もドイツのように謝らなければならない。だが、同じ政権がずっと執権することによって私たちは多くの希望を失っている」。

この対談からひと月半が経過した。朝米首脳会談成功直後、慌てふためいた安倍政権は一瞬、朝鮮(※)側との外交姿勢をアピールしたが、総裁に再選されれば、米国以外の外部からの動きに再び目を閉ざし耳を塞いで、国家主義的政策にばく進しようとするだろうし、そのことによって社会的少数者への迫害を強め、社会のセーフティーネットを縮小していくだろう。

●安倍政策の先鋒に立つ大阪市

もとより、在日同胞は日本政府の差別と迫害の対象である。そして、对在日同胞政策を規定する柱である日本の対朝鮮半島政策は、近年「拉致問題」を焦点とした対朝鮮バッシングとして一層強めてきた。今、大阪市は、そんな安倍政治の先鋒に立っている。

大阪市民政局と大阪市教育委員会の連名で、今年5月31日付で「拉致問題は現在進行形の私たちの問題です」と題した通信が発行され、公立の小学校で配布された。そこには更に拉致問題を「政府だけでなく、国民的な課題として声を上げ続けていきましょう」と記されている(※)。朝日間では平壤宣言で記された過去清算、国交正常

化、在日朝鮮人の地位などを含めた懸案の包括的解決が2014年に再合意されたが、その後も制裁と圧力のみを強調し、一切の外交努力をしない安倍政権は、結局、拉致被害者(として日本で周知されている)の苦痛の解消ではなく、ひたすら拉致問題を日本の右翼的再編のため利用してきた。大阪市は、その政府への同調を子どもたちや保護者に求めている。

吉村大阪市長の親分である橋下徹氏は、府知事時代に「(朝鮮学校から)子どもたちを救おう」と吠えたことがあったが、今、朝鮮学校への差別は解消されず、むしろ強まり、日本の学校では、多くの同胞の子たちが民族虚無の渦に埋められようとしている。



▲朝鮮学校に対する差別に抗議する生徒たち

●続けること、踏み出すこと

今しばらく、安倍政権とメディアの偏向は続くだろうし、傷つく同胞がまたひとりと増えかねない。ただ、それでも朝鮮半島を発信地とした歴史的転換の契機は、多くの同胞たちに生きる力を与え、歓喜と支持をもたらしたことは間違いない。重要なことは、そんな歓喜の聲が一時期で埋もれてしまわないよう声を拾い上げ、発信を続け、声をひとつに集める大きな器を準備することだと思う。そこからまた闘う力を大きく生み出せるだろう。そして、そうなるために自らに語りかける。「もう一歩、踏み出そう!」と。

※「北朝鮮」という表記は避けたいので、あえて「朝鮮」とした。

※大阪市民政局のホームページで、人権企画課の名前で拉致問題がもっと詳細に説明されている。(範)

韓米・朝米関係の歴史と現状を学ぶ 韓統連生野支部情勢学習会

韓統連生野支部主催による学習会「大転換の朝鮮半島、韓国」が7月29日(日)、韓統連生野支部で開かれた。



▲学習会には生野支部会員などが参加

今回、講師は孫啓榮(ソン・ゲウォン)韓統連生野支部副代表委員が担い、韓米・朝米関係の歴史について解説しながら「長期にわたり朝米関係は敵対してきた。その原因は米国の対北朝鮮敵視政策にある」と語った。

続いて「しかし、今年に入り南北・朝米関係は大きく変わった。特に6月に歴史上初めて開かれた朝米首脳会談では新しい朝米関係の構築に合意するなどの共同声明が発表され、その意味は大きい。私たちも朝鮮半島の平和、朝米関係の正常化の実現を訴えていこう」と主張した。

その後、質疑討論が行われ、学習会は終了した。

停戦協定締結から65年

一日も早く平和協定にかえよう！

日韓平和連帯7・17集会

朝鮮半島の停戦協定締結から65年を迎え、日韓平和連帯主催で「朝鮮戦争停戦協定締結から65年 東アジアの平和に向けて、停戦協定を平和協定にかえよう！南北・米朝首脳会談を支持・歓迎し、日朝対話の再開を求める7・17集会」が7月17日(火)、エルおおさか(大阪市中央区)で開かれた。

集会では、日韓平和連帯共同代表の山元一英さんが主催者挨拶を行った後、「南北・朝米首脳会談の歴史的意義と今後の展望」をテーマに、金昌

五(キム・チャンオ)韓統連大阪本部副代表委員が講演を行った。

金副代表は講演を通じ、第3回南北首脳会談に至る経過を報告しながら「首脳会談で発表された板門店宣言は統一・不戦・平和の宣言であり、板門店宣言の履行を通じて南北関係は確実に前進する」と語った。



▲情勢講演を行う金昌五副代表委員

続いて、朝米首脳会談に関して「朝米首脳会談開催の背景として、▲韓国でのキャンドル革命による親米反北勢力の没落、▲朝鮮の火星15型の実戦配備により朝鮮と米国との力の均衡が実現したこと」と述べるとともに、朝米首脳会談の性格を「敵対関係の解消と関係正常化」と語った。

最後に、今後の展望について「8月の韓米合同軍事演習中止の発表、朝鮮戦争時の米兵の遺骨返還など朝米関係も前進している。しかし、日本社会全体が朝鮮に対する敵視政策に染められている。在日同胞と日本の良心勢力が団結して、この敵視政策を転換させ、朝鮮半島及び東アジアの平和を実現していこう」と主張した。

その後、集会では活発な質疑応答が行われ、続いて、8月に実施される日韓平和連帯訪韓団の日程などが紹介され、7・17集会は終了した。

沖縄から屋良朝博さんを招き

日本の安全保障問題について学ぶ

しないさせない戦争協力

関西ネットワーク総会

韓統連大阪本部も加盟している「しないさせない戦争協力関西ネットワーク2018年総会」が7月20日(金)、エルおおさか(大阪市中央

区)で開かれた。

総会では、しないさせない戦争協力関西ネットワーク事務局長の星川洋史さんが、2017年活動報告と2018年活動方針案を一括提案し、今年の活動方針として▲8月11日に沖縄県民大会に連帯する行動▲10月20日に反戦平和集会の開催などが提案され、満場一致で確認し、総会は終了した。

その後、記念講演が行われ「沖縄米軍基地と日本の安全保障を問い直す」をテーマに、沖縄国際大学非常勤講師の屋良(やら)朝博さんが講演を行った。屋良さんは「沖縄の米軍基地化は、米国が沖縄戦の前年に、沖縄が日本の中で差別的な処

遇を受けていると分析し、日本と沖縄との間に横たわる政治的軋轢を利用できると判断した」と指摘し、「日本政府が沖縄に対する意識変化がない限り、沖縄の基地問題は変わらない」と語った。

そして「冷戦が終了後、世界的な安全保障のテーマは9・11(テロ)と3・11(自然災害)になってきている。国連機関の調査では、アジア太平洋地域で大規模な自然災害が発生する確率は欧州などに比して高く、安倍政権だけが冷戦時代の安全保障にしがみついている。旧態依然とした発想で憲法改正を行おうとしている。このような憲法改正を許してはならない」と訴えた。

講演後は質疑応答が行われ、講演会は終了した。

〈次代を担う若者たち〉 —韓青大阪本部 活動紹介—

アンニョンハシムニカ。韓青大阪府本部第34期委員長の趙映和(チョ・ヨンファ)です。

6月10日の定期大会では、韓統連大阪本部の先輩の方々にご参席を頂き、心より感謝申し上げます。歴史上初めてとなる朝米首脳会談の直前ということもあり、他地方から駆けつけてくださった方にも、心より感謝申し上げます。

7月のイベントですが、新規参加者の歓迎会を7月21日に上新庄駅付近で行いました。

猛暑日が続く中、さすがにバーベキューは危険とのことで、カラオケと焼肉、そしてダーツという3つの企画で行いました。とても充実した時間で、初めて参加した大学1年生の学生も非常に喜んでおり「機会があれば、また参加してみたい」という声も頂きました。

私たち韓青大阪本部は引き続き毎週水曜日午後8時から、生野北支部、布施支部の各支部でウリマル(母国語)教室を行っています。ウリマルを習いたい、在日同胞の青年と知り合いたいという青年の方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。よろしく願いいたします。

今、私たち韓青では夏の一大イベントである夏期講習会(サマーキャンプ)に向けて準備を進めております。今回はなんと!夏期講習会としては初めてソウルで行われる運びとなりました。何よりも今、南北関係がスポーツを中心に交流が活発となっており、期間中には南北労働者統一サッカー大会も開催されます。私たち韓青も歴史の意志を实践する主体として、全国から訪問団を結成し、今の情勢を作り出した祖国の人々、特に青年学生たちと熱気にあふれた空間を共にしたいと思います(※当初8月13日~15日までの予定でしたが、南北労働者統一サッカー大会の開催に合わせて8・15大会が開催されることになりましたので、8月11日から前倒しで日程が組みなおされます)。

次回のこのコーナーでは、その報告をさせて頂きたいと思いますので、ぜひご期待ください。



▲新参加者と焼肉を楽しむ

【投稿】 韓国女性解放運動と日本の女性との連帯活動 1970年代の韓国民主化闘争を闘い抜いた女性たち

『アジアと女性解放』（発行：アジアの女たちの会）は、1977年6月発行の第197号）で、「韓国民主化闘争の女たち」と題して特集号を発行した。

副題に「女性差別・民族抑圧からの解放をめざして」と書いてある。「声明 私たちは韓国女性たちの闘いを支持する」を出す理由を編集グループは次のように語っている。「かつて、中国、朝鮮半島をはじめアジアの国々で焼き、殺し、奪い、

女たちを犯す侵略の尖兵となったのは、私たちの肉親であり、友や恋人でした。私たちはこれ以上、夫や恋人を経済侵略、性侵略の尖兵として送り出す女たちであり続けることを拒否しようと思いません。この決意なしには私たち自身の解放は決して現実ものにはならない。

（中略）日本のアジア侵略に女たちも加担してきたという歴史的責任を問いながら、（中略）韓国に生まれた不幸のうえに、女として生まれた不幸に涙しながらも、二重の抑圧・差別に涙をぬぐって立ち上がる。不屈の生き方を日本の女たちに知らせたい。「膝を屈して生きるよりは、立ったまま死ぬ勇氣」を持って闘う韓国の女たちに深い敬意と熱い連帯を伝えるため」。

この号の表紙は1976年3月1日、金大中元大統領などが朴正熙大統領による維新独裁政治を批判する「民主救国宣言」を発表して自由を求めたことで拘束・起訴され、宣言の参加者の多くが実刑判決を下される事件で、判決に抗議する被告と家族たちの写真が掲載されている。李姫鎬（イ・ヒョ）金大中元大統領夫人と被告の李愚貞（イ・ウジョ）女史が写っている写真は、今や歴史的瞬間を切り取った貴重な写真だ。

「韓国民主化闘争の女たち」の冒頭は「民主救国宣言」事件被告の李愚貞女史（韓国教会女性連合会長）の法廷陳述だ。その要旨は「民主救国宣言に参加したことが理由で、当時勤めていたソウル女子大を辞めざるを得なかった。女性を利用し

た外国観光客誘引に反対したら、KCIA（韓国中央情報部）が“韓国はドルを必要としている”と非難してきた。道義を失ったら政治はギャングに支配される。韓国社会をドルのために得ることに反対する、また在日韓国人の権利のためにも闘ってきたが、政府はこれを自分たちの失政を反映するものと見て止めさせようとした」などが書かれている。

次に「民主救国宣言」の妻たちを紹介してい

る。「民主回復」「裁判公開」と書かれた団扇や日傘を掲げてデモをしたが、軍警に阻止され、護送車で連行されたことが書かれている。金芝河（キム・ジハ）詩人のオモニ（母）が語るインタビュー記事や、ある学生のオモニからの寄稿文には20歳の学生だった子が、南山の対共分室に連行されたこと、そこでどのようなことが行われているのかを心配する姿が書かれていた。次に韓統連の機関紙である民族時報の記事が紹介されていたので転載する。

<偉大なオモニ（母）>

去る3月22日「民主救国憲章」

の署名運動が静かに深く浸透しているが、この「憲章」に署名した10人の著名人士の署名は、抵抗詩人金芝河氏のオモニである鄭琴星（チョン・クムソ）女史が、当局の目をさけて一人一人訪問してとったものだ。（中略）わが国のオモニたちは偉大であった。日帝に追われ、流浪の旅を続けながら、夫を、息子を抗日の志士に、独立軍の戦士に育てたオモニがいかに多かったか。（中略）オモニたちは夫の『シリをたたきながら』たくましく生きてきた・・・」。

この号は、女性差別と民族の抑圧からの解放を目指している女性の人権問題と、民族分断の解消が同時進行することをうたっている。今、新たな朝鮮半島と日本の女性たちの連帯と協力を模索するにあたって、過去の連帯運動を振り返ってみた。（鐵）



▲アジアと女性解放 第197号

【コラム】 夏のスイカに思う

夏にはスイカが似合う。この感覚はおそらく多くの人に共通するものだろう。黒いタネこそ煩わしいが、あの真っ赤なスイカと夏の青空の取り合わせは、郷愁を掻き立ててやまない憧憬だ。

元は熱帯アフリカが原産で、中央アジアから中国を経て到来した。日本では南北朝～室町時代に栽培が始まったようで、江戸時代には全国各地で栽培され、露店の切り売りにより庶民の涼果になった。ただし昔の日本のスイカは黒皮の品種が主流で、緑地に黒縞の皮が広まったのは1920年代頃とか。

一方、我が国のスイカ栽培は13世紀後半から始まるそう。朝鮮中期に許筠(ホ・ギョソ)が記した随筆『屠門大嚼』にスイカに関する文章が現れる。「西瓜。高麗時代に洪茶丘(ホ・テグ)が開城で栽培したのが最初である。…(略)…忠州産が上物で、冬瓜のような形のものが良い。原州産はこれに次いで良い」。

しばしば悪役としてとりあげられるモンゴルの将軍洪茶丘だが、高麗に駐屯している間もスイカが食べたかったのだろうか、首都開京でスイカ栽培を始めたという。その後、この洪茶丘のスイカが広まったのかは不明ながら、元から多くのものが高麗に伝わる中でスイカ栽培も根付いていったようだ。

高麗末の文臣李穡(イ・セク)もスイカを食した詩を作っている。「西瓜如雪齒牙寒／熱氣無從入我肝(スイカが雪のようで歯が寒く、熱気も私の腹の中に入ることができない)」。スイカを雪に例えるとは、果肉が白いスイカを食べたのかもしれない。実際そういう品種のスイカは実在する。

しかし、朝鮮後期の百科全書『青莊館全書』では「形は匏(ふくべ)の如し。外は青く、内は紅い」と紹介されている。縞模様については言及されていないが、この頃には私達がよく見るような赤い果肉のスイカが普及していたように見受けら

れる。

そして現在、韓国のスイカは日本のものと少し形が違う。丸いスイカも流通しているが、やや縦に長い楕円形のスイカが目立つ。

スイカに何をかけて食べるかというのも韓国と日本で考え方が若干違うようだ。日本ではスイカに塩を少量かける食べ方があるが、韓国では砂糖をかける食べ方があるという。

日本育ちの感覚としては「スイカに砂糖」と聞くと少し信じられない気分になる。これは日本の美意識によるものか。『雲萍雑誌』という江戸時代

の文献に「飛喜百翁という人が千利休を招いた時、スイカに砂糖をかけて出した。利休は砂糖のかかっている所を食べて帰り、門人に『百翁は人を饗応(きょうおう)することをわきまへず』と語った」という逸話が残されている。天下の御茶頭千利休にこう否定されては、やはり「スイカに砂糖は無粋」というこ

とになるのだろうか。

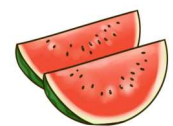
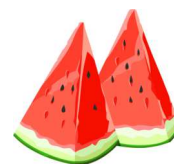
しかし改めて考えてみると、スイカの魅力はそのたっぷり含んだ水分とほんのりした甘さであり、甘さが足りないと言うのなら砂糖で補ってもいいのではないかと個人的に思う。

もちろん世の中、スイカに何かをかけて食べねばならないわけでもない。スイカをそのまま食べるのもいいだろう。

そもそも最近では品種改良により、日本も韓国も糖度が高いスイカが多くなった。そのまま食べても充分すぎるほど甘い。先の逸話で利休は結論として「スイカにはスイカの美味さがある」と言って笑ったそうだが、今の甘くなったスイカをどう思うだろうか。(好)



▲韓国産のスイカ



◆◆DVD紹介◆◆

あの日、兄貴が灯した光

久しぶりの韓国映画の紹介です。

今回紹介するDVDは「あの日、兄貴が灯した光」です。DVDケースの表紙を見た時「これはちょっとクセのある兄貴と真面目な弟が主人公だ

な」とピンとききました。物語は私が想っていたとおりでした。柔道の国家代表を目指すドウヨン(弟)は練習試合で事故にあい、失明してしまいます。兄のドウシクは詐欺師で刑務所に服役中で、弟の事を新聞で知り、弟の世話をしたいと仮釈放を求め、兄弟は15年ぶりに再会します。

ドウシクが弟の世話をするというのは真っ赤な嘘。目が見えない弟に食事も与えず、栄養失調にさせてしまったり、両親が貯めた貯金を使い込んで車を購入したりなど自分勝手な生活を送ります。

弟のドウヨンは失明して以降、自分の部屋に閉じこもり、人生に失望しています。

そんな生活が続く中、ドウシクは突然余命3ヶ月

月の宣告を受け大きく考えが変わります。ここは韓国映画の特徴の一つですね。何の前触れもなく、いきなり余命3ヶ月。

ドウシクは自分が死んだ後、弟がしっかり生きられるようにするために様々な努力をします。そんな姿を見てドウヨンも心を開き、やがてドウヨンは2016年リオ・パラリンピック柔道韓国代表になり決勝戦に出場します。さて、その試合の結果は?

純粋に兄弟愛を描いた笑いあり、涙あり、感動ありの内容です。物語の途中、ドウシクがドウヨンに次の言葉を言うよう勧めます。

「人には二つの目があります。一つは肉体の目。もう一つは心の目。

僕は肉体の目は失ったけど、神様は僕に心の目をくれました」。この言葉、どの場面で使うでしょう? 気になる方は、ぜひ映画を見てください。

(ソン)



◆行事案内◆

光復73周年 板門店宣言を熱烈に支持し、自主統一を成し遂げよう! 在日韓国人関西地域集会

日時：8月19日(日) 午後2時 受付 午後2時30分 開会

場所：学働館 大阪市西区川口2丁目4-2

地下鉄「阿波座」駅下車7号出口より徒歩7分

内容：映像資料上映

情勢講演 講師：孫亨根 韓統連中央本部議長

韓青国内光復73周年行事・全国夏期講習会報告 他

参加費：500円

主催：韓統連関西協議会 TEL06-6711-6377



編集後記

今号のコラムのテーマはスイカでした。皆さんは韓国のスイカを食べたことがありますか? 私は残念ながらありません。スイカも美味しいですが、メロンも美味しい。夕張メロンが食べたい! (ソン)

